



# 公益社団法人 日本作曲家協会 会報

NO. 177

<http://www.jacompa.or.jp>

JAPAN COMPOSER'S ASSOCIATION

## 平成26年度 定期総会を開催



公益社団法人・日本作曲家協会は、平成26年度定期総会を5月26日（月）午後3時から、JASRAC「けやきホール」で開催、上程議案をいずれも原案通り承認可決した。

定期総会冒頭で、四方章人事務局長から総会の成立条件である出席状況（会員総数586、本日出席者118、委任状出席者276、計394）の説明があり、「定款第17条」の規定による「総正会員数の過半数を超える正会員」の出席が確認され、総会成立が宣せられた。

「定款第22条」に基づき叶 弦大会長が議長席につき、弦 哲也理事長、丸山雅仁常任監事もそれぞれ所定の席につき、叶会長の開会挨拶で始まった。

次いで、「定款第18条」による議事録署名人を叶 弦大議長と徳久広司、水森英夫の3氏に委嘱、全員の拍手をもって決定された。

議長の開会宣言の後、弦 哲也理事長が第1号議案「平成25年度事業報告」を行い、四方章人事務局長が「平成25年度収支決算報告」を行った。

続いて丸山雅仁常任監事から監査報告があり、全員の拍手をもって可決・承認された。

引き続き第2号議案「平成26年度事業計画案」を弦 哲也理事長が説明、「作曲家協会音楽祭」について、幸 耕平実行委員長と大谷明裕副委員長から、秋の「研修旅行会」について、田尾将実理事から補足説明が行われた。

その後、「平成26年度収支予算案」が説明され、全員の拍手により原案通り可決・承認された。

以上をもって議案の審議、報告事項がすべて終了し、閉会となった。

# 総会の様



(右) 丸山雅仁 常任監事  
(中) 叶弦大 会長  
(左) 弦哲也 理事長



四方章 人事務局長



総会風景



作曲家協会音楽祭の説明をする  
幸 耕平 実行委員長



ソングコンテストについて説明する  
大谷明裕 理事



研修旅行について説明する  
田尾将実 理事



北田暢也 JASRAC 常任理事



乾杯の音頭、聖川 湧 常務理事



懇親会風景

# 懇親会

総会終了後、隣接の「リブレ」で懇親会が催され、田尾将実理事の司会進行により和やかにスタート。叶 弦大会長の挨拶と聖川 湧常務理事による乾杯発声があり、更にゲストとして北田暢也JASRAC常任理事の挨拶。

会場内ではお酒と食事、そしてあちらこちらで楽しい会話の華が咲いた。

途中、本日出席の新入会員（笠間千保子、梶原豊樹、榎みのる、島 秀斉、杉本直之、秦 正英）6氏が紹介され、入会後の抱負などを語った。

午後5時頃、平尾昌晃常務理事の挨拶と望月吾郎理事の一本締めで閉会となり、それぞれ帰路に着いた。



なごやかに…

会長・理事長を囲む新入会員の皆さん



中締め・平尾昌晃常務理事

手締めの音頭 望月吾郎理事



## 初めて総会に出席して

### 幅広く活動できるよう精進を… 笠間千保子

この度、望月吾郎理事、藤 優州先生にご推薦頂き、作曲家協会に入会させて頂きました。今回初めて総会に出席させて頂き、偉大な先生方とお会いできたこと、とても感激致しました。

私は過去にヤマハ音楽教室にてピアノ講師や、デモンストレーターとしてピアノの演奏をしておりました。しかし、しばらく音楽の世界から離れており、ずっと音楽に関わる仕事に復帰したいと願っておりました。

今は作曲活動の他にピアノ講師、演奏、音楽イベントの企画、カラオケ教室、審査員等をやらせていただいております。今後は諸先生方から学んだ事を活かし、幅広く活動できるよう日々精進してまいります。

### 1曲ごとに全力で作曲したい 島 秀斉

新入会員の島 秀斉です。この度入会させて頂き、本当に有難うございました。酒場のピアノ弾き（お客様の歌謡曲の伴奏）から始めて、現在はカラオケ講師。作曲は20年前から始めて、独学の自己流です。

3年前に、たまたま歌いに入ったカラオケ喫茶のマスターが作詞家だったので、「作曲させて下さい」と言ってみたら、意外にも書かせてくれました。それを機にプロの作曲家になろうと決心しました。

これからの目標は、人々がカラオケで「歌いたくなる」「聴きたくなる」様な曲を書く事です。1曲ごとに全力で作ります。まだ余裕がありません。業界内の事も全然分かりません。先生方皆様には、何とぞよろしく御指導をお願い申し上げます。

## オリジナルソング・コンテスト作品募集

- ◆ 「星空に<sup>だ</sup>抱かれて」
- ◆ 「悲しみ発ふるさと行き」

作詩・石原 信一

歌唱・新沼 謙治

### 応募方法

- 一、(公社)日本作曲家協会現会員に限る。
- 一、応募は一人一曲に限る。
- 一、(二編の詩から一編を選んで作曲すること)
- 一、作品は歌入りのカセットテープ、MD、CD(ピアノまたは他の楽器による伴奏付き)にメロディー譜を添えること。
- 一、イントロの長さは四小節もしくは十五秒以内とする。
- 一、楽譜と音源の表面には絶対的に名前を書かず、楽譜の裏面に氏名及び電話番号を記入すること。
- 一、作品の歌唱者は作曲者以外でも可。
- 一、応募作品は返却しない。
- 一、同封の誓約書に署名捺印し作品と一緒に必ず提出すること。

応募締切 7月31日(木)必着

# 「日本作曲家協会音楽祭・2014」開催決定

今年度の「日本作曲家協会音楽祭・2014」は昨年度に引き続き「日本作曲家協会音楽祭・奨励賞」に併せて「ロングヒット賞」「ベストカラオケ賞」「有線大衆賞」の3賞を設け、それらの賞にふさわしい歌手に出演を依頼し表彰することが決定している。

開催期日、場所、実施内容は下記のとおり。

◆日 時 平成26年10月6日(月) 16時半開場 17時開演

◆場 所 北とぴあ・さくらホール(東京都北区・王子駅前)

## 《実施内容》

①「日本作曲家協会音楽祭・奨励賞」の発表及び表彰

(各レコード会社から推薦された歌手の中から審査委員会において4～5名を選出)

②「ロングヒット賞」「ベストカラオケ賞」「有線大衆賞」受賞歌手の発表及び表彰。

③「オリジナルソング・コンテスト」グランプリ曲発表。

今年度の対象歌手は、新沼謙治さんに決定。

課題詩は、石原信一氏作詩による「星空に抱かれて」「悲しみ発ふるさと行き」の2編が決定。

2編のうちどちらか1編を選び作曲し応募すること。

課題詩と募集要項は会員に対し既に告知・発送済み。締め切りは7月31日。

④新沼謙治さんのほか川中美幸さん・原田悠里さん・北川大介さんの出演が決定。奨励賞及び3賞受賞歌手は6月中旬までに決定する予定。

なお、今年度の音楽祭の様子はBSジャパンで放送されることが決定している。



若草 恵理事

加藤嘉一  
TBS取締役

弦 哲也理事長

## ■ 作曲家協会に感謝状 ■

平成26年4月16日に、昨年度の「第55回日本レコード大賞」が17.6%の高視聴率を獲得した功績に対し、株式会社TBSテレビから感謝状と金一封が贈られた。

